

新年度がスタートして二週間が過ぎます。年度当初に立てた計画は実行できていますか。もしかして、後でやろうかと思っていませんか。後っていつ？ GW後？ 総体後？ 夏休み後？ 来年？ 懐かしい言葉を書きます。「いつやるの？」→「今でしょ！」。決して昔に流行った言葉ではありません。普遍です。では、今実行するためにはどんな計画を立てるのが良いのでしょうか。以下に具体策を挙げてみるので、まだ何も始められていない者は参考にしてみてください。

【計画を立てる際に考えておく事】

①自分のスタートとゴールを設定する

スタート地点：自分の実力 最終ゴール地点：志望校 他人とは実力や環境が違う！

②自分の使える時間がどれだけあるのか把握する

学習できる時間は限られている。その時間をいかに有効に活用するかを考えよう。

また、試験や入試までの残り時間によっても、計画は大きく変化する。

③やらなければならない量を把握する

何をどれだけ学習しなければならないのか、その質と量を考える必要がある。

教科のバランスも重要だ。教科バランスを無視した計画では上手くいかない。

④修正が前提で計画を立てる

完璧な計画は立てられない。「何月までにこの参考書を仕上げる」「ここまでの成績に到達しておく」などアバウトなものでよい。詳細な計画は一週間程度が限度である。

⑤年間・月間の計画は大まかに、一週間・一日の計画は詳細に

長い期間の計画から、徐々に単位を小さくしていこう。

⑥進路シラバスを活用しよう

4月当初「一高進路シラバス」が配布されており、そこに1年間の目標や指針が示されている。今何をやるべきなのかを、もう一度確認してみよう。

【大前提】

計画を立てるにせよ、実践するにせよ一番大切なのは**目標設定**です。自分がどうなりたいたいのか、何に興味があるのか、そのためには何をしなければいけないのか。しっかり確認しよう。

【具体的な注意点】

① 「計画魔」にはなっていない

詳細な計画を立てすぎて、計画を立てたことに達成感を感じてはダメ。アバウトな計画を立てて、こまめに軌道修正を加えながら学習状況を確認しよう。

② 「復習日」を設定しよう

人間は忘れる生き物です。復習することで学習内容が身に付きます。

③ 「達成基準」を持つよう

計画の達成基準は、時間ではなく、量でもなく、質である。英単語を200個やるという計画で、100個しか覚えることができなかつたら、それは達成したとはいえません。

④ 「自分のペース」を把握しよう

達成できない計画を立てないことが重要。そのためには、自分のペースを把握しなければならない。それは自分で学習してみないとわかりません。

⑤ 「簡単なこと」の方が重要度は高い

簡単なことは、まさに基礎となっていること。基礎が抜けているのに、無理をして難易度の高いことをしても終わらない。達成できることを完璧にしていこう。

【日日新の活用】

「日日新」（学年によっては独自の学習計画表）活用していますか。一週間単位のアバウトな学習計画を学習記録欄の下方に記入するところがあります。まずはここでチェックしてみましょう。今週の計画は達成できたか、時間を有効に活用できたか、一週間を振り返って次週につなげることができるようになります。一週間の計画の内訳例を示しておきます。＜4日間は学習日、次の2日間は復習日、最後の7日目は調整日としてみよう。復習には時間をかけて欲しいので土日を使う。ということは火～金で新しいことを学習、土日で4日間かけて学習したことを復習、月曜日はどれだけ一週間の学習が身に付いたのかの確認日、そして次週の計画を立てる。＞

以上はあくまでも一例です。週末課題を基準に学習計画を立てる者は、また違った一週間の内訳となるでしょう。最初に示した通り、自分の実力と使える時間によって計画も変わります。

しかし変わらないものもあります。それは高校を卒業し、次のステージへと進むということです。それぞれの目標や目的に向けて、今何をやるべきなのかを各自が捉え、日々成長してくれることを願っています。「Boys be Ambitious」の言葉通り、大きな志を持ち、その志に向かって一步一步前進し続ける、そんな一高生であって欲しい。